

都市再生整備計画 事後評価シート
茅ヶ崎駅周辺地区

令和5年2月

神奈川県茅ヶ崎市

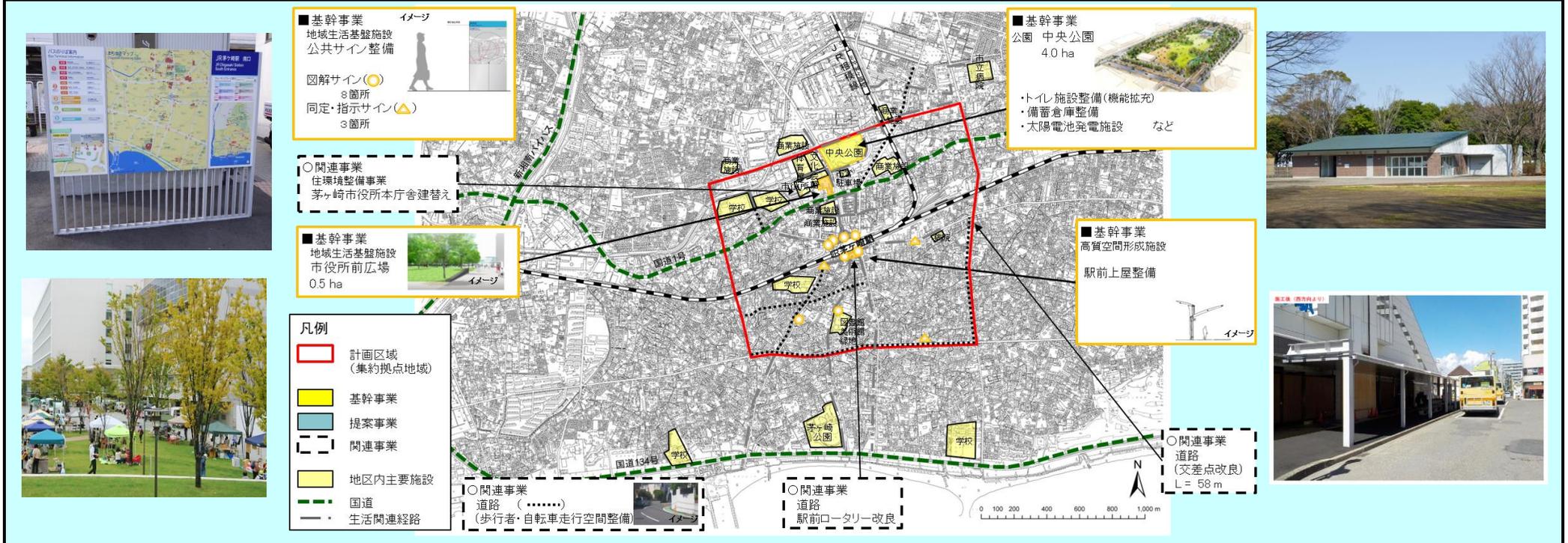
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県		市町村名	茅ヶ崎市		地区名	茅ヶ崎駅周辺地区			面積	191.3ha		
交付期間	平成28年度～令和2年度		事後評価実施時期	令和4年度		交付対象事業費	377百万円	国費率	0.45				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	【公園】中央公園 【地域生活基盤施設】市役所前広場、公共サイン整備、駅前広場整備 【高質空間形成施設】駅前歩行者空間整備、駅前上屋整備									
	当初計画から削除した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			基幹事業	【地域生活基盤施設】駅前広場整備		関係機関との調整に不測の時間を要し、本計画期間内での事業完了が不可能となったため削除			影響なし				
	新たに追加した事業		基幹事業	【高質空間形成施設】駅前歩行者空間整備		関係機関との調整に不測の時間を要し、本計画期間内での事業完了が不可能となったため削除			影響なし				
			提案事業	-		-			-				
	交付期間の変更		当初	平成28年度～平成32年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			なし				
変更			平成28年度～令和2年度										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
	指標1	茅ヶ崎駅周辺の歩きやすさの満足度	%	49.30	H28	60.00	R2	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期
	指標2	高齢者の外出頻度	%	63.20	H28	66.20	R2	-	39.9	×	あり	事業の完了により、利用環境の快適性や利便性向上を達成することができたが、新型コロナウイルスの影響により、人々の生活意識・行動が変化し、またこれに伴い人々の交通手段にも変化があったことにより、従来見込んでいた満足度の向上が得られなかった。	-
	指標3							-	65.0	△	あり	事業の完了により、都市のみどり空間を創出し、快適な利用環境の確保及び市民の憩いの場を整備することができたため、一定の効果はあったと考えられる。	-
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
	その他の数値指標1							モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況													
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	-			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	官民連携による取組	-			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
持続的なまちづくり体制の構築	-			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

様式2-2 地区の概要

茅ヶ崎駅周辺地区(神奈川県茅ヶ崎市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
大目標 環境に優しく豊かな生活が送れる低炭素まちづくり	茅ヶ崎駅周辺の歩きやすさの満足度	単位: %	49.30	H28	60.00	R2	39.90	R4
目標1 歩きやすく、自転車が利用しやすい健康的なまちづくり	高齢者の外出頻度	単位: %	63.20	H28	66.20	R2	65.00	R4
目標2 みどり豊かで外出したくなるまちづくり		単位:		H		R		R



まちの課題の変化	<p>(達成されたこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> 茅ヶ崎駅南口駅前上屋整備により、茅ヶ崎駅南口駅前広場の利用者は傘をささことなくバスに乗降できるようになり、利用環境の快適性や公共交通の利便性が向上した。 公共サイン整備により、歩行者や自転車利用者が円滑な施設利用ができるよう、まちに関する情報の視認性等を高めることで、利便性が向上した。 市役所前広場の整備により、市民の憩いの場として、新たにみどり空間を創出することができた。また、広場を催事などイベントスペースとしての活用を始めたことで、にぎわいを創出する機会が生まれた。 中央公園の施設機能拡充を実施することにより、公園利用者や周辺を徒歩や自転車で移動する市民にとって、快適な利用環境が整備された。 <p>(残された未解決の課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 茅ヶ崎駅周辺の歩きやすさの満足度の向上には至っておらず、引き続き、歩きやすく、自転車が利用しやすい空間の整備に努める必要がある。 みどり豊かで外出したくなるまちづくりを進めるにあたり、茅ヶ崎駅周辺地区において、市民の憩いの場として、重要な役割を持つ中央公園については、計画事業により一部施設の機能の充実を図られたものの、供用開始から30年以上が経過しており、樹木の生長による見通しの悪化や急勾配の散策路等による安全性の懸念があることから、緑陰空間を確保しつつ、公園全体のバリアフリー化を図るなど、誰もが利用しやすいより魅力ある公園として再整備していく必要がある。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<p>(効果を持続させるための基本的な考え方)</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存施設及び今回新たに整備した施設について、定期的な点検や修繕等、適切な維持管理に努める。 広場において、効果的かつ継続的ににぎわいの創出を図る。 <p>(改善策の基本的な考え方)</p> <ul style="list-style-type: none"> 誰もが通行しやすい歩道や公共公益施設のバリアフリー化の推進、区画道路等の基盤の改善に努める。また、歩行空間の整備や自転車ネットワークの形成を図る。 公園や緑地などの公共施設において、緑陰空間の確保や憩いの空間の整備を引き続き進める。